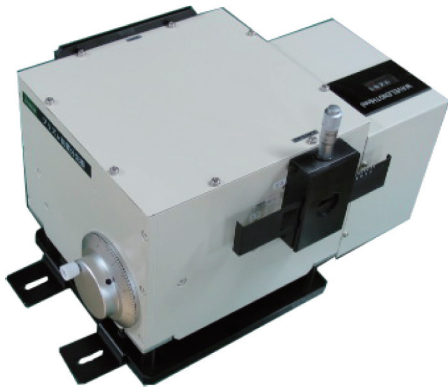


# PF-200 プリズム前置分光器



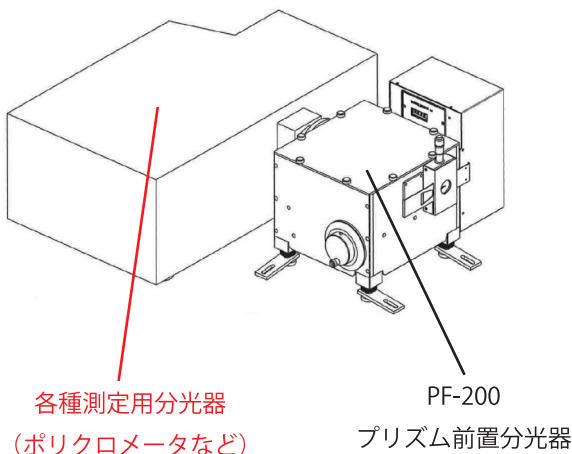
紫外ラマン分光、SFG 分光などレーザー分光測定において、分光器（ポリクロメータ）などの入射部に取り付けが可能なプリズム前置分光器です。

多波長レーザーを使用した分光測定において、エッジフィルタやノッチフィルタなどの代わりとして、使用可能です。

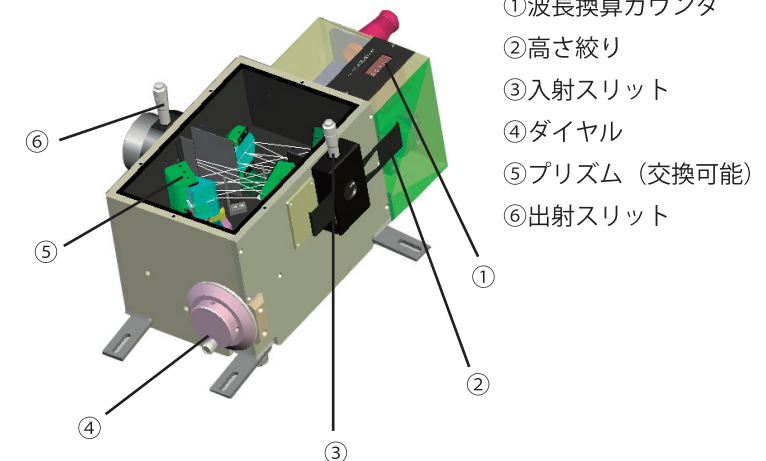
分散素子としてプリズムを採用し、紫外用・可視用など波長領域に合わせて交換が可能で高効率な前置分光器です。

- 紫外ラマン分光、SFG 分光などの測定において、高効率・低迷光な前置分光器です。
- フィルタの代わりにプリズムを採用することにより、1台で多波長の使用ができます。
- フィルタでは対応が出来ない紫外領域の測定やフィルタを複数枚購入するよりも安価にシステムを構築することが可能な点でメリットがあります。
- プリズムは交換可能な構造の為、紫外用・可視用など波長領域に合わせて、高効率な選択が可能です。またプリズムを平面ミラーに交換し、非分散スルー光学系としても使用できます。
- 各種測定用分光器との接続（高さ調整など）もオプションなどで対応します。

## システム構築例



## 構成図





## 仕様

光学配置	リトロ分散プリズム光学系
焦点距離	200mm
口径比	F= 6
分散素子	プリズム
入出射スリット	幅: 0 ~ 4mm (両開き対称連続可変・読取り最小目盛 0.01mm)
高さ絞り	連続可変 V 型絞り 1 ~ 10mm
機械的波長範囲	紫外プリズム: 190 ~ 400nm 可視プリズム: 360 ~ 600nm
波長表示	検量線波長変換駆動方式 *直接波長表示ではありません。
波長駆動	ハンドル手動駆動方式

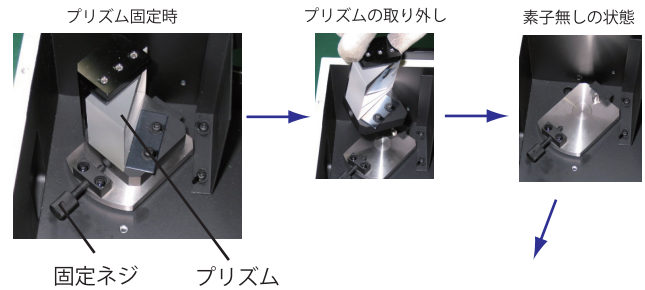


## 標準構成

- プリズム前置分光器 本体
- 紫外プリズム
- 可視プリズム
- 高さ V 型絞り
- 取扱説明書



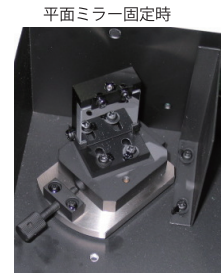
## プリズム・平面ミラー交換



### 素子の交換方法

1. 固定ネジを緩めます。
2. プリズムを取り外します。
3. 平面ミラーを取り付けます。
4. 固定ネジで固定します。

\*平面ミラーはカウンタ値 250 の時に 0 次光出射になります。



## 波長 - カウンタ 換算表 (例)

水銀ランプ 輝線スペクトル (波長)	カウンタ値
253.65nm	253.65
296.72nm	283.6
312.57nm	290.55
365.02nm	306.5
404.66nm	314.1
407.78nm	317.5
435.84nm	318.5

\*換算表は参考値です。装置によりカウンタ値は異なります。



## 外形寸法

・本体: 約 W220×D350×H240mm

●記載の仕様および外観は予告なしに変更する場合があります。

< PF-200-1906057N >

# 分光計器株式会社

<http://www.bunkoukeiki.co.jp/>

本社・工場 〒192-0033 東京都八王子市高倉町 4-8

TEL 042(646)4123 FAX 042(644)3881

東日本営業所 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-23-1

TEL 03(3837)1021 FAX 03(3837)1023

西日本営業所 〒533-0014 大阪府大阪市東淀川区豊新 3-24-5

TEL 06(6323)4502 FAX 06(6323)4902

### ●お問い合わせは